

sapientia
サピエンティア 50

The Ethnic Cleansing of Palestine

パレスチナの民族浄化

イスラエル建国の暴力

Ilan Pappé

イラン・パペ [著]

田浪亜央江・早尾貴紀 [訳]

横浜市立大学
後援会
寄贈図書

法政大学出版局



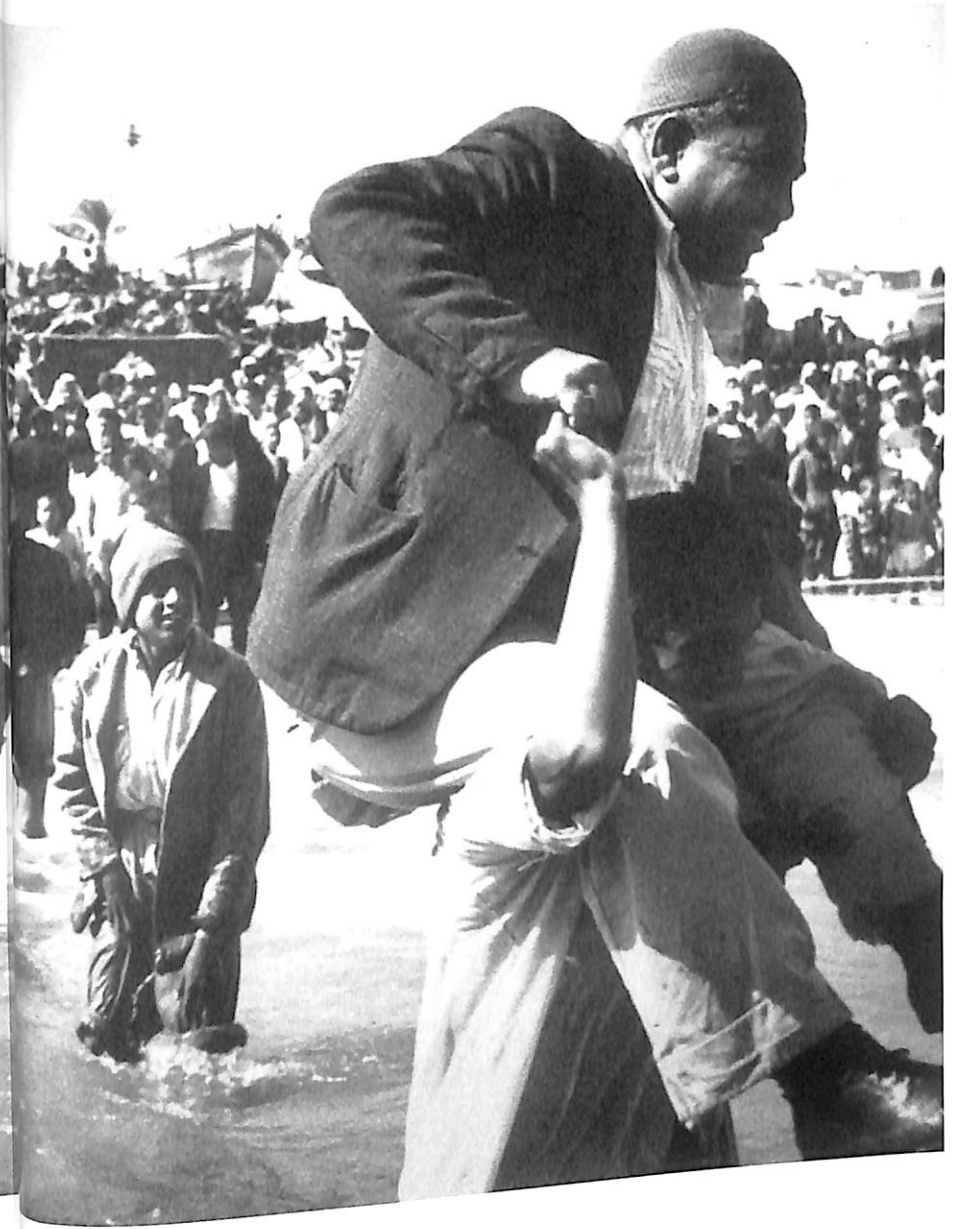
● カバー写真

1948年のイスラエル建国前後にパレスチナ全土で住民の虐殺や追放が実行された。子どもから老人まで人々は自宅から追い出され、難民となった。10歳から50歳までの男性は捕虜収容所へ送られた。



6 自宅から追い出され難民となった女性や子ども、老人たち。10歳から50歳までの男性は捕虜収容所へ送られた

上で
自宅
集り



8 何千人ものパレスチナ人が激しい砲撃を逃れて海岸に殺到している。脱出する
さなかに多くの人が溺死した



10 ユダヤ軍に村を占領され、家財道具をトラックに積むパレスチナ人の村人



11 多くの難民が何百 km も歩くことを強いられた



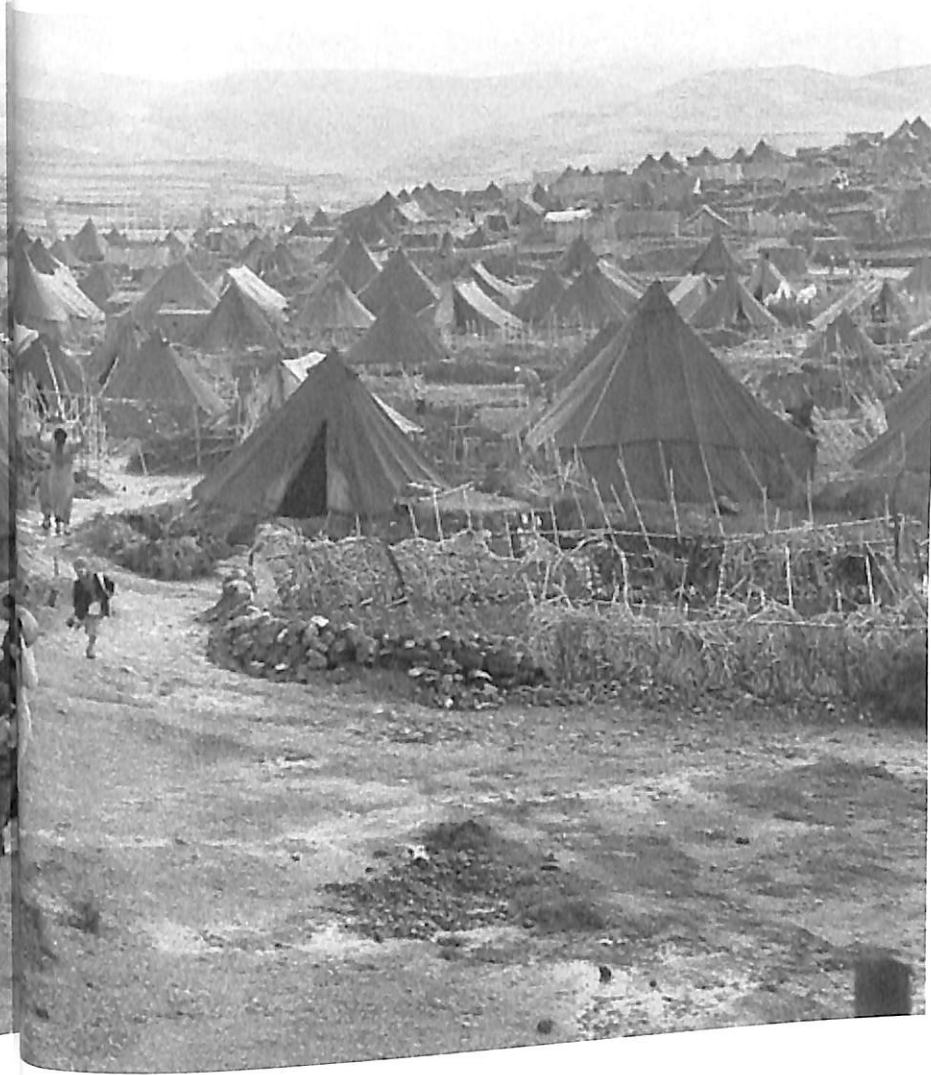
9 何千人もの難民が徒歩で避難した



13 何千人もの群衆がハイファの港に集まり、ヨーロッパから到着した 1500 人のユダヤ人移民・難民を歓迎した (1949 年 1 月 31 日)



12 パレスチナ難民は先を争って釣り船に乗りこみ、南部からはガザ地区やエジプトへ、北部からはレバノンへと逃れた



18 レバノン北部にあるナハル・アル＝バーリド難民キャンプは、追放されたパレスチナ人のために作られた最初期のキャンプの一つである（1948年冬）

505.5
35

パレスチナの民族浄化

The Ethnic Cleansing of Palestine

イスラエル建国の暴力

イラン・パペ [著]

田浪亜央江・早尾貴紀 [訳]



19 ヨルダンのバカア難民キャンプの年老いた難民

寄贈受入

006892290

プロローグ レッドハウス

別れの時

私たちは泣かなかった

泣く時間なんてなかった

別れなんかなかった！

別れの時だとは

知らなかったのだ

一体どうして泣けよう？

ムハンマド・アリー・ターハー（一九八八年）

サッフォーリヤ村出身の難民

「私は強制移送に賛成である。そこに何ら不道德なものを見出さない」

ダウイド・ベングリオン

ユダヤ機関執行部に対して、一九三八年六月

「レッドハウス」は典型的な昔のテルアビブの建物だ。一九二〇年代にこれを建てたユダヤ人の大工や